

示談書 (サンプル)

当事者・被害者 ○○ ○○ (以下「甲」という。) と当事者・加害者 △△ △△ (以下「乙」という。) の間で以下の通り示談がなされ、争いを解決した。

第1条 (示談の成立等)

1 甲と乙は、本日、下記の事実に関して、双方譲歩のうえ、次条以下の通り合意し、契約を締結した (以下「本契約」という。)

記

乙は、甲の夫 □□ □□ (以下「丙」という。) に配偶者がいることを知りながら、丙と不倫交際をし、継続的に、丙に不貞行為を行わせた。

2 乙は、前項に記した事実について、自認し、甲に対して、謝罪する。

第2条 (乙の慰謝料支払義務等)

乙は、前条第1項に示した事実に関して、甲に対する慰謝料支払義務が存することを認め、慰謝料として、金150万円 (以下「本件慰謝料」という。) を支払う。

第3条 (慰謝料の支払方法等)

1 乙は、甲に対して、令和○年○月末日を期限として、本件慰謝料を一括して支払う。

2 前項の支払いは、甲が指定する下記の金融機関への振込みにより行い、振込みにかかる手数料は、乙の負担とする。

記

金融機関名 : ○○○銀行
支店名 : ○○支店
預金種目 : 普通預金
口座番号 : ○○○○○○○○
口座名義人 : ○○ ○○ (○○○○ ○○○)

第4条 (遅延損害金)

乙において、本件慰謝料の支払期限を徒過した場合、乙は、甲に対して、本件慰謝料から既払い金を除いた金額に、年3%の割合による遅延損害金を付加して支払う。

第5条 (甲の権利放棄)

甲は、第1条第1項に記した事実を理由に生じた、慰謝料等の財産上の請求権について、本契約に定める財産上の請求権を除いて、すべて放棄する。

第6条 (清算条項)

甲及び乙は、本契約締結後においては、本契約に定めるものの他、お互いに、一切、債権・債務を有しないことを確認した。また、本契約締結以降、慰謝料等名目いかなを問わず、本契約に関し、この契約書に記載したもの以外、互いに何らの財産上の請求をしない。

上の記載の通り、甲、乙の間で契約を締結したことの証しとして、本契約書を2通作成し、甲、乙それぞれが署名押印の上、各自1通ずつを保有する。

令和○年○月○日

(甲) 住所

氏名

印

(乙) 住所

氏名

印